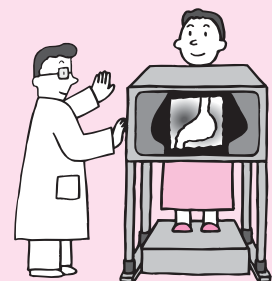


10月は「がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間」です

検診を受けて健康な毎日を



現代は「日本人の2人に1人ががんになり、3人に1人は「がん」で亡くなる時代」といわれています。そして秋田県はがんによる死亡率が全国1位。がんにより影響を受けるのは患者本人だけではなく、家族はもちろん、周りのたくさんの人がさまざまな影響を受けます。

がんは早期発見が重要です。検診を受けて健康な日常生活を送りましょう。

受診によって病気を早期に発見することができれば治療期間や治療の負担も少なくて済みます。

課へお問い合わせください。なお、健診ガイドは市役所、市保健所など市の施設、調剤薬局、おもな金融機関、コンビニエンスストアにも置いてあります。また、市ホームページでもご覧いただけます。

早期発見・早期治療を

がんの早期は自覚症状がないため、自分で気をつけているつもりでも症状に気がつくことは困難です。

秋田市のがん検診

市では、秋田市に住民票があり、職場などで受診の機会がないかたを対象に、がんなどの検診を実施しています(上表を参照)。検診を実施している医療機関や料金など詳しくは、「平成22年度秋田市の健診ガイド」(広報あきた5月21日号と同時配布)をご覧ください。なお、市保健所保健予防

乳がん・子宮頸がん検診
無料クーポン券は
早めにご利用を

各種検診の概要

検診名	対象者	実施期間	実施方法
胸部検診	40歳以上 ※年齢は来年度の9月31日現在です	10月まで	検診車 日曜健診
胃がん検診	40歳以上	10月まで	検診車 日曜健診
子宮頸がん検診	①20歳～39歳の女性 ②40歳以上で今年度偶数歳の女性	12月まで	医療機関
骨粗しょう症検診	40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳の女性	12月まで	医療機関
大腸がん検診	40歳以上	来年2月まで	医療機関 日曜健診
前立腺がん検診	50歳以上の男性	来年2月まで	医療機関 日曜健診
乳がん検診	40歳以上で今年度偶数歳の女性	来年2月まで	医療機関
歯周疾患検診	30歳、40歳、50歳、60歳、70歳のかた	来年2月まで	医療機関

- 検診の日程や料金などは、胸部検診は広報あきた9月3日号に、胃がん検診は広報あきた6月4日号に、その他の検診は健診ガイドに掲載しています。対象者や料金は検診により異なりますのでよくご確認ください。
- 乳がん検診は期間の後半になると申し込みが集中し、受診できないことがありますので早めにお申し込みください。
- 日曜健診の会場は秋田県総合保健事業団中央健診センター(川尻町の血液センター隣)です。今後の実施日は10月3日、11月7日、12月5日、来年1月16日、2月6日、2月13日、3月6日で、受付時間は午前8時～10時です。

なお、12月までは事前に保健予防課へお申し込みいただく乳がん検診のマンモグラフィ検査を受けることができます。



平成22年度
秋田市の健診ガイド



乳がん・子宮頸がん検診を無料で受診できるクーポン券(5月に対象者へ送付)は有効期限があります。乳がん検診はクーポン券に書いてある「事前の申込期限」まで、子宮頸がん検診は「有効期限」までにご利用ください。

問い合わせ
市保健所保健予防課
☎(8833)1176



荒巻番楽が 全国大会で 舞を披露

晴れ舞台上で熱演 上北手荒巻地区に古くから伝わる荒巻番楽が8月21日、東京都新宿区の日本青年館で開催された全国こども民俗芸能大会に北海道・東北ブロック代表として出演しました。華麗かつ大胆な舞に会場中に大歓声が響きました。

荒巻番楽は山伏・修験神楽のひとつで、同地区の青年会が中心となって保存会を結成し、小・中・高校生を対象に伝承に努めています。



就学時健康診断

問い合わせ 学事課 ☎(866)2243

来年小学校に入学するお子さんを対象に下表の日程で就学時健康診断を行います。対象になるお子さんに10月20日(水)ころに「就学時健康診断票」を郵送しますので、お住まいの学区の小学校または指定する会場で受診してください。事情により指定会場以外で受診を希望する場合は診断票が届いた後に学事課へご連絡ください。

対象

平成16年4月2日～17年4月1日に生まれたお子さん

受付時間

午後1時20分～2時

用意するもの

①就学時健康診断票 ②母子健康手帳

実施日	会場
10月	26日(火) 雄和公民館 川添小、種平小、戸米川小、大正寺小学区のお子さんは雄和公民館で受診してください
	29日(金) 外旭川小、旭南小
	1日(月) 広面小
11月	2日(火) 旭川小
	4日(木) 桜小、保戸野小、四ツ小屋小
	5日(金) 飯島小、下北手小
	8日(月) 八橋小、旭北小、太平小 山谷小学区のお子さんは太平小で受診してください
	9日(火) 牛島小、東小、御所野小、上北手小
	10日(水) 大住小、中通小、土崎南小、下浜小
	11日(木) 築山小、勝平小、港北小、浜田小
	12日(金) 泉小、川尻小、寺内小、土崎小
	15日(月) 河辺総合福祉交流センター 岩見三内小、河辺小、戸島小学区のお子さんは河辺総合福祉交流センターで受診してください
	16日(火) 飯島南小、金足西小、豊岩小
	18日(木) 日新小、高清水小、下新城小 上新城小学区のお子さんは下新城小で受診してください
	19日(金) 仁井田小、明徳小

骨粗しょう症 検診のすすめ

みなみ整形外科クリニック
三浦由太先生



骨粗しょう症は、骨が粗くなって「鬆(すきま、細かい穴)」が入る病気です。骨量が減少して骨組織の微細構造が変化することにより、骨の強度が弱くなって骨折しやすくなります。

骨粗しょう症は、加齢、閉経などさまざまな要因が関与して発症します。また、近年日本では高齢化が進んで骨粗しょう症が寝たきりの原因として社会問題化するようにもなりました。

骨粗しょう症の症状は骨量低下のみで無症状な例や、腰痛・腰背部痛のみにとどまるものから、骨折、さらには多発性の骨折をきたす例までさまざまです。特に高齢者では背骨の圧迫骨折、股の付け根の骨折、手首や肩近辺の骨折を起こし、活動が制限され、ひいては寝たきりのもとになります。背骨の圧迫骨折は骨粗しょう症が引き起こす骨折のうちで最も頻度が高い骨折です。背骨に多発骨折が起こると後わん変形を引き起こし、いわゆる「腰曲がり」の状態になってしまいます。

秋田市では40歳から70歳までの女性を対象に5歳刻みで骨粗しょう症検診を実施しています。女性は閉経すると女性ホルモン(エストロゲン)が欠乏します。女性ホルモンには骨吸収抑制作用がありますので、閉経後は急激に骨量が減少します。検診を忘れずに受け、ご自分の骨の健康度を定期的にチェックして早期診断・早期治療に役立てていただきたいと思います。



背中、腰…。症状が出る前に受診を！